

# The door to the books



読書週間  
10/27~11/9

令和6年度  
文部科学大臣表彰  
子供の読書活動優秀実践校

図書委員制作担当  
2-3  
2-3  
2-4  
2-4

イラスト部制作担当  
2-1  
1-1

令和6年度  
五島高校：図書委員会  
10月15日作成  
10月31日発行



明智恭介の奔走  
著者：今村 昌弘  
出版社：東京創元社

こんにちは!図書委員会です。  
今日は、ハッピーハロウィン!!ようやく秋らしくなりました。  
秋は色々な楽しみ方ができます。  
図書委員が「読書の秋」に相応しい本を選んでみました。  
みんなでワクワク、ゾクゾクしましょう。



ハリー・ポッターと賢者の石  
著者：J.K.ローリング  
訳：松岡 佑子  
出版社：静山社

「屍人荘の殺人」で登場した明智恭介。  
今回は、彼が屍人荘以前に遭遇した事件を描くスピンオフ作品となっている。  
この本は、殺人事件などが起こらない日常推理小説となっている。  
出てくる事件は、どれも変化球であり、ただの探偵ものではなく、とても面白い推理探偵ものとしておすすめです。  
ぜひ読んでみてください。



六人の嘘つきな大学生  
著者：朝倉 秋成  
出版社：KADOKAWA

成長著しいIT企業の新卒採用最終選考に残った六人の就職活動で起こるミステリー。私達には馴染みのない「就活」を題材にしていますが、人の表と裏、光と闇を描いた物語です。  
大学生になった気分で犯人を捜してみてください。  
映画化もされました。面白い作品なので、ぜひ読んでみてください

有名だけど、まだ知らない人のために。  
ハリーは、おじやおば、いどこにいじめられ、誕生日など誰にも祝ってもらえない。  
見知らぬ大男がハリーを迎えに来る…。  
読み始めは、ハリーの惨めな生活に暗い気持ちになりますが、ホグワーツ入学後、どんどん面白くなります。  
ハロウィンらしく魔法を使った作品です。  
図書館には、ハードカバーと文庫本の両方があります。ぜひ読んでみてください。



レイチェルと魔法の匂い  
著者：クリフ・マクニッシュ  
訳：金原 瑞人  
出版社：理論社

レイチェルを倒すため、遠い星から来た魔女軍団との戦いが始まります。地球を舞台に戦いが繰り広げられ、時に子供たちが残酷に利用されます。  
展開が非常にスピーディーで飽きません。特に物語に登場する大魔女との戦いの決着は、素晴らしいです。  
ぜひ自分で確かめてみてください。

呪われた町  
著者：スティーヴン・キング  
訳：永井 淳  
出版社：集英社



荒れ果てた屋敷が丘の頂から見下ろす町「セラムズ・ロット」そこに幼い頃、住んでいた小説家ベンが帰ってきた。  
現代を舞台とした正統派吸血鬼ホラー。  
上巻では町の人々の生活ぶりや人との繋がりが語られます。下巻からは、本格的なバトルがスタートします。特に、手に汗握る頭脳戦が見所たっぷりです。

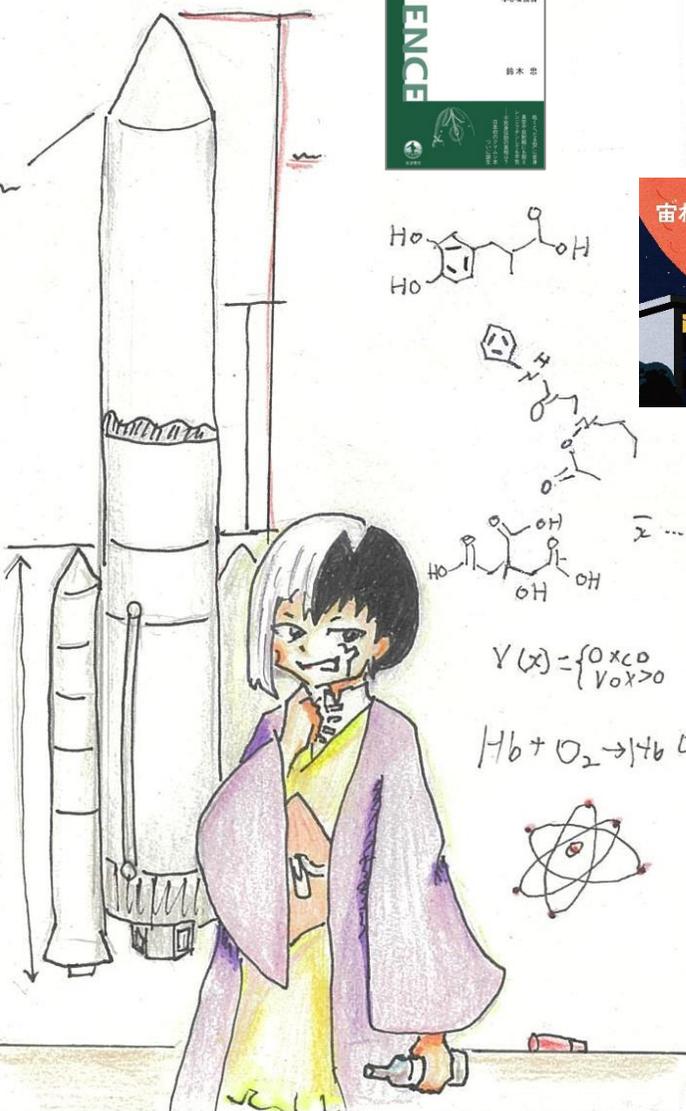
**図書館統計のお知らせ**  
9月の貸出冊数は106冊です。  
昨年度は68冊でした。  
9月昼休みと放課後の入館者数は299人/11日でした。

# 生物

題名:クマムシ?!—小さな怪物  
 著者:鈴木 忠  
 出版社:岩波書店



皆さん、クマムシをご存じですか？  
 彼らは目には見えないほど小さな生き物ですが、真空、高温、空腹はもちろん(?)、なんと!絶対零度や放射線すら耐えきるといいます！  
 この本ではこの理由について、様々な観点から説明されています。  
 不死身伝説を持つ不思議な生き物、クマムシ。  
 彼らの秘密が書かれたこの本を読んでみませんか？



# 理系特集

思いっきりリフレッシュした後は、勉強に集中です!!  
 今回は科学に関する本を特集しました。  
 文系の皆さんも理系の皆さんも科学にたくさん触れてみましょう!!

## 科学総合

題名:ニセ科学を見抜くセンス  
 著者:左巻 健男  
 出版社:新日本出版社

「ニセ科学」、皆さんももしかしたら無意識に巻き込まれているかもしれません。例えば、血液型性格診断。  
 A,B,O,AB型の四つに分けられますが、本当にすべての人間の性格を四種類に分けられるのでしょうか？実は血液型性格診断はバーナム効果(誰にでも当てはまることをいわれているのに自分のことをあてられたと思込む心理的效果)によるものだと言われています。皆さんもこの本を読んでニセ科学に騙されないようにしましょう!!



## 物理・天文学

題名:宙わたる教室  
 著者:伊与原 新  
 出版社:文藝春秋

新宿にある定時制の高校。そこには年齢も、抱えた事情もばらばらな生徒たちが通っていた。「もう一度学校に通いたい」という思いのもとに集った生徒たちは、理科教師の藤竹を顧問として科学部を結成し、学会で発表することを目標に、「火星のクレーター」を再現する実験を始める——火星の夕焼けは青なのです。  
 実話の感動小説。  
 この作品のドラマが現在放送中です！  
 ドラマといっしょに一度読んでみませんか？



題名:31文字のなかの科学  
 著者:松村 由利子  
 出版社:NTT出版

31文字といえばなんでしょう？  
 そう、短歌ですね!この本では、生物、宇宙、物理など科学のことを詠んだたくさんの短歌を、解説付きで読むことができます。  
 短歌を楽しみながら科学も学べるこの本を、ぜひ読んでみてください!!

## 数学

題名:[小説]フェルマーの最終定理  
 著者:日沖 桜皮  
 出版社:PHP研究所

**フェルマーの最終定理**…それは一人の天才、フェルマーが遺した、最後にして最難関の大定理です。  
 この難問に多くの数学者たちが生涯を賭して挑みました。そして遂に1994年、アンドリュウ・ワイルズらにより、ついに解読されます。  
 この本はフェルマーの最終定理、それに挑んだ傑物たちに魅せられた二人の男女の恋模様が描かれています。  
**数学×ラブストーリーの新感覚の恋愛小説**を読んで二人の関係の途中式とその解を求めてみてはどうでしょう。



# 化学

題名:宮沢賢治の元素図鑑  
 —作品を彩る元素と鉱物  
 著者:桜井 弘  
 出版社:化学同人

『春と修羅』、『注文の多い料理店』  
 これらの本に共通していることは…そう!宮沢賢治が著した本たちです。  
 この名作たちの文章の中には、Ne,La,Xeといった多くの元素が登場します。  
 彼の著書に登場する鮮やかな言の葉と共に美しい化学の世界をのぞいてみませんか？

